

# 2021年度京都大学図書館機構講演会「オープンデータとしての学術論文」アンケート結果

京都大学図書館機構

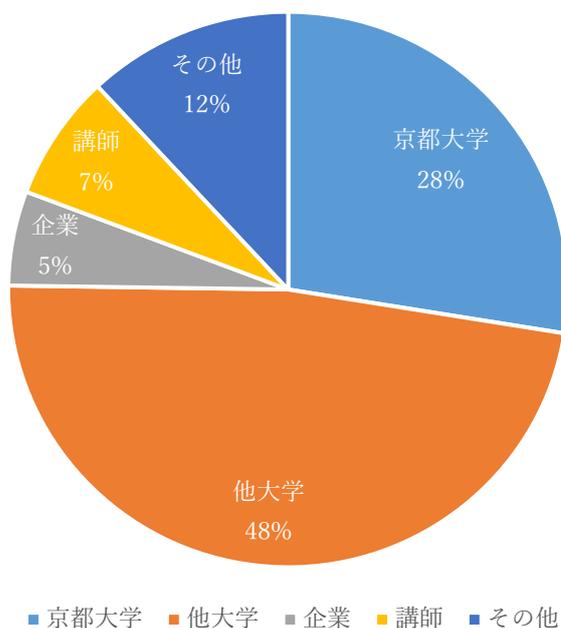
開催日時：令和4(2022)年2月15日(火) 13:00~17:00

開催場所：Zoom ミーティング (オンライン) 開催

参加者数：109名 (学外者：79名、学内者：30名) ※講師・スタッフを含む

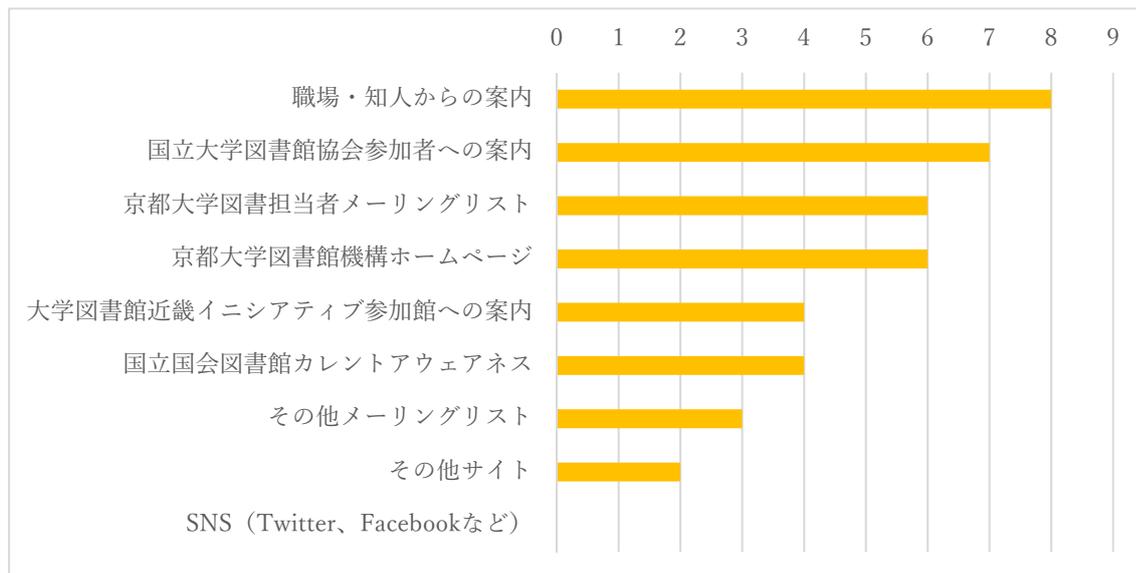
アンケート回答数：31名

## 全参加者の所属



## アンケート結果

### 本講演会を知った情報源 (複数回答可)



講演会の内容について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

大変刺激的なとても良い内容でした。今後、大学図書館がどのように具体的に取り組んでいくのがよいか、色々なヒントがありました。
今後一層重視される分野だと思いました。
大変興味深く有益な内容でした。
あまり知らない分野で、分野の最先端のお話をきけて良かった。西岡先生の最初の基本語彙のレクチャーなどがなければ理解できない部分も多かったので、大変ありがたかった。
近年注目されてきているオープンサイテーション等について具体的な取り組み事例を聞くことができ、とても参考になりました。日本でも同様の取り組みを広めていけると良いと思いました。
オープン・サイテーションの意義、機械との協調に向けてのロードマップなど今後意識していく必要があることで拾い切れていなかったことをおさえられて大変有意義でした。 また、この取り組みにおける海外のトップランナーの方々の講演を聴けたのは貴重な経験となりました。
興味のあるテーマだったので勉強したいと思い、参加いたしました。想像以上に専門的でした。不勉強なのでついていくのがやっとなのですが、担当している方にとってはとてもためになるのではないかと思います。
あまり馴染みのないテーマだったので、内容を理解するのに時間がかかりました。
オープンサイテーションの海外の事例について講演をお聞きすることができ大変興味深く拝見しました。
内容が高度で、なかなか理解が難しかったのですが、「こんな動きもあるのか」と知れたことがよかったです。
Open Citationを進めることが、氾濫する学術情報を整理することになる、ということがよく理解できた。
知識が追いついていませんが、大変勉強になりました。
オープンサイテーションについて非常によく分かりました。
特に第二部の ORKG のご講演は、デモも交えてのものでわかりやすく、非常に興味深く拝見しました。個人的に情報の可視化に興味がありますので、関連することについてもう少し勉強したいと思っています。
直接業務にかかわっていないので少し難しいところもありましたが、概要がつかめてよかったです。質問も沢山あって、参考になりました。参加してよかったです。
最近の海外の文献に関する動向を知る事が出来てよかった。
オープンデータについては制度な側面である CC ライセンスなどは知っていたが、技術的な側面である機械可読性やデータ構造化などについては知らないことも多く、勉強になった。また、京都大学図書館での人文学系の紀要のオープン・サイテーションの試みは、日本語資料の貴重なオープン・サイテーション化サンプルとして大いに参照したい。
オープンデータの取組みが加速する海外情勢について知見を得ることができた。
海外のオープンデータの状況に触れる機会がありませんので、貴重な機会を提供いただきありがとうございます。

動画の日本語字幕や逐次通訳のお蔭で、言語の壁を感じずに受講することができました。準備に携わられた皆様に御礼申し上げます。

ただ、学内（特に若手の図書系職員）の参加が少ないように思いました。英語の講演会というだけで受講を避ける方もいると思いますので、言語面での心配がないことを、事前にもっと広報されてもよかったかもしれません。

その他、講演会の運営や開催方式等、全般についてご意見があればお聞かせください。

録画面像が予習復習に利用できて、大変助かりました。

事前に和訳付きの動画を拝見できてよかったです。ご開催ありがとうございました。

充実した会だったと思います。無料で聞けてしまうのが申し訳なくもったいないところでした。Webinar ではなく普通の Zoom だったので参加者リストをみるのができたのはありがたかったです。また、参加者リストをみていると図書館関係者が非常に多いように見受けられました。それ自体はよいことだと思いますが、図書館情報学関係者や研究者がもっと多く参加するようなことになる、なおよいのではないかと思いますので、そういう方向も探していただけるとよいかもしれません。

ディスカッション以外をオンデマンドにされたのはとても合理的だったと思います。個人的には動画の翻訳文をテキスト形式でも提供いただけるとうれしかったです。

始めの音声の不具合以外は特に問題なくスムーズであったと思います。

事前配信された講演を、いろいろな情報を調べながら自分のペースで視聴することができたのが良かったです。

前半録画ということで理解が深まりました。オープンサイエンス政策担当者が聞くととてもよい内容だと思いましたが、参加者はおられましたでしょうか。

今回のように事前に動画を視聴する形は、都合のよい時間・ペースで内容を把握でき、また本開催のときに部分的に都合が悪い時間帯があっても受講できるという点で、非常に良いと思いました。

短時間でよいので休憩時間を複数回設けていただけるとよいなと思います。

Zoom での開催は参加しやすくよいと思います。

英語音声による視聴と字幕の組み合わせが講演理解に効果的であると感じました。

今後、講演会でとり上げてほしいテーマ等があればお聞かせください。

オープンサイエーションに対応する論文の書き方やそのような論文の書かせ方など、オープンサイエーションのデータを作成することに関する取り組みを聞いてみたい。

オープンサイエンスにおける分野別 DB と機関リポジトリの関わりあい方

シェアード・プリント

ハゲタカジャーナル、OA 転換契約

研究データ管理、研究データポリシー、オープンアクセス、オープンサイエンス